



一般社団法人応用生態工学会 普及連携委員会

全国フィールドシンポジウム in 沖縄

奄美大島・徳之島・沖縄島やんばる・西表島が世界自然遺産に登録されるなど、世界でも特殊な自然環境を有する亜熱帯地域における外来種問題は深刻です。日本の野外に生息する外国起源の生物の数はわかっているだけで約2,000種であるのに対して、沖縄県内では確認されているものだけでも植物で700種以上、脊椎動物で150種以上、無脊椎動物で500種以上に達しています。このため、行政が中心となって外来種対策を進捗させているところです。

沖縄地方における精力的な取り組みとして、那覇市内の国道58号線沿いにおける外来アリ防除、やんばるの大宜味村田嘉里における外来植物防除の現場等を観察した後、県外事例とともに外来種対策に関する最新の技術や考え方を議論し、官民学による外来種防除の展開に資するフィールドシンポジウムを開催します。

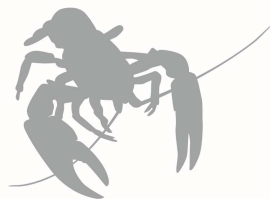
野外観察フィールドツアー

11月2日(土)

参加費
無料

10:00～11:00 那覇軍港付近・泊いゆまち付近における外来アリの防除現場
沖縄科学技術大学院大学 小笠原 昌子氏他 案内

14:30～15:30 大宜味村田嘉里における外来植物ツルヒヨドリ等の防除現場、他
Endemic Garden H 上開地 広美氏 案内



シンポジウム

11月3日(日) 13:00～16:00

参加費
1500円

基調講演

吉村 正志 『機関横断的な協働で挑む、亜熱帯島嶼地域沖縄における外来種監視と防除』
環境省沖縄奄美自然環境事務所 外来生物企画官

講演

沖縄県 『沖縄県の進める外来種対策』
沖縄県 環境部自然保護課(演者未定)

上開地 広美 『やんばる地域における外来植物対策の現状』
(株) Endemic Garden H 環境部長

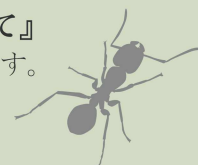
宮本 真琴 『やんばるのダム湖における外来種対策』
(一財) 沖縄県環境科学センター 参事 / リュウキュウアユを蘇生させる会

藤井 和也 『然別湖におけるウチダザリガニ防除対策の「これまで」と「これから」』
(株) 福田水文センター / 然別湖生物多様性保全協議会

中井 克樹 『水辺の外来種問題：昨今の動向と考え方』
滋賀県立琵琶湖博物館 特別研究員

パネルディスカッション 『外来種対策の技術、官民学・地域連携の重要性について』

※演題等は変更される場合があります。



主催 一般社団法人 応用生態工学会 普及・連携委員会 (<https://www.ecesj.com/>)

後援 沖縄県(予定)

※日本土木学会CPD認定プログラム(予定)

問合せ先 (株) 沖縄環境地域コンサルタント内

沖縄地域連絡責任者：宮良 工 090-7465-6517 miyara@erc-oki.co.jp

フィールド・シンポジウム全行程案内図



③ 外来植物ツルヒヨドリ現場（初日）

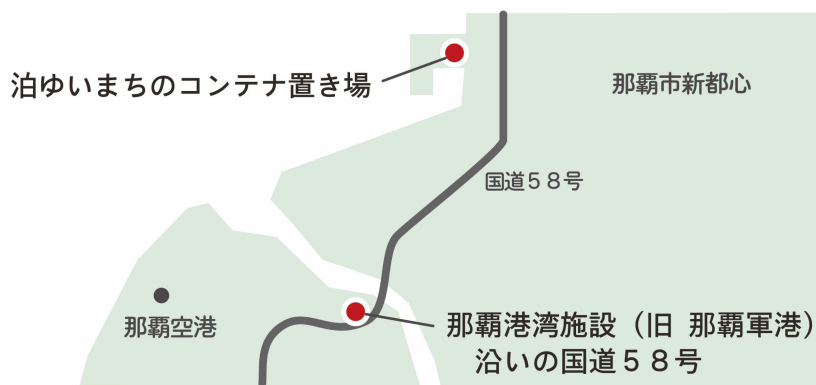


④ 宿泊地（初日）

シンポジウム及び普及連携委員会（2日目）



② ハヤトゲフシアリの防除現場（初日）



※ 集合場所や出発時間等、行程の詳細については、お申し込み後に別途メールにてお伝え致します。

※ 初日の宿泊については、事務局までお問い合わせ下さい。

※ フィールドツアーは雨天決行となります。雨具等は各自でご準備ください。

※ 前日から来沖される方は、各自で宿泊先の手配をお願い致します。

一般社団法人応用生態工学会 普及連携委員会 全国フィールドシンポジウム in 沖縄

参加申し込み者記入欄

参加ご希望の方は、FAX(098-871-1136)またはメール (miyara@erc-oki.co.jp) にて下記内容をご送付ください。

氏 名	所 属	連絡先		参加希望日 (※1)	参加証明書 (※2)
		電話番号	eメールアドレス		
				初日・2日目	
				初日・2日目	
				初日・2日目	
				初日・2日目	

※1: 開催2日間のうち、希望される参加日に○をつけてください。

※2: CPD登録申請用参加証明書が必要な方は○を記入してください。